

第2部

高齢者保健 福祉計画

第1章

活動的で、活力に満ちた高齢社会づくり

- 1 社会参加と生きがいつくりの推進
- 2 高齢者に関する情報提供の推進
- 3 福祉マインドの醸成
- 4 世代間交流の推進

第2章

安心・安全を実感できる、人にやさしい生活環境づくり

- 1 コンパクトなまちづくりと住環境の整備
- 2 バリアフリーの推進と潤いのある生活空間の整備
- 3 総合的な安全対策の強化

第3章

健やかな暮らしを支える心と体づくり

- 1 壮年期からの健康づくり
- 2 疾病の重症化防止
- 3 高齢者及び家族介護者の心の健康づくりの推進【新規】
- 4 介護予防の推進
- 5 健康づくりの基盤整備
- 6 地域医療の推進

第4章

一人ひとりの個性や尊厳、自立を支える地域社会づくり

- 1 地域包括ケアの推進
- 2 認知症高齢者対策の推進
- 3 高齢者等の権利擁護の推進
- 4 介護保険制度の適正運営の推進
- 5 介護サービスの基盤整備

第5章

成果指標

- 1 福祉サービス
- 2 保健サービス

1 基本方針

(1) 「社会参加と生きがいづくりの推進」

高齢者が積極的に社会参加して、生きがいをもって自立した生活を送ることができるよう、趣味・文化活動、生涯学習活動、地域・ボランティア活動、健康・スポーツ・レクリエーション、就労活動及び発表の場・交流機会の充実などの施策の推進に努めます。

また、高齢者が自ら活動する意欲と交流する喜びが持てるまちづくりに努めます。

(2) 「高齢者に関する情報提供の推進」

福祉ニーズが多様化するなかで、サービス利用者が適切な判断を行えるよう、情報提供の充実を図るとともに、積極的な市民参加による福祉意識の向上に努めます。

(3) 「福祉マインドの醸成」

個人が人としての尊厳を持って生活し、地域住民としてのつながりを持ち、ともに支え合い、助け合うまちづくりを目指して、福祉ボランティアや福祉教育等を推進するなど福祉マインドの醸成に努めます。

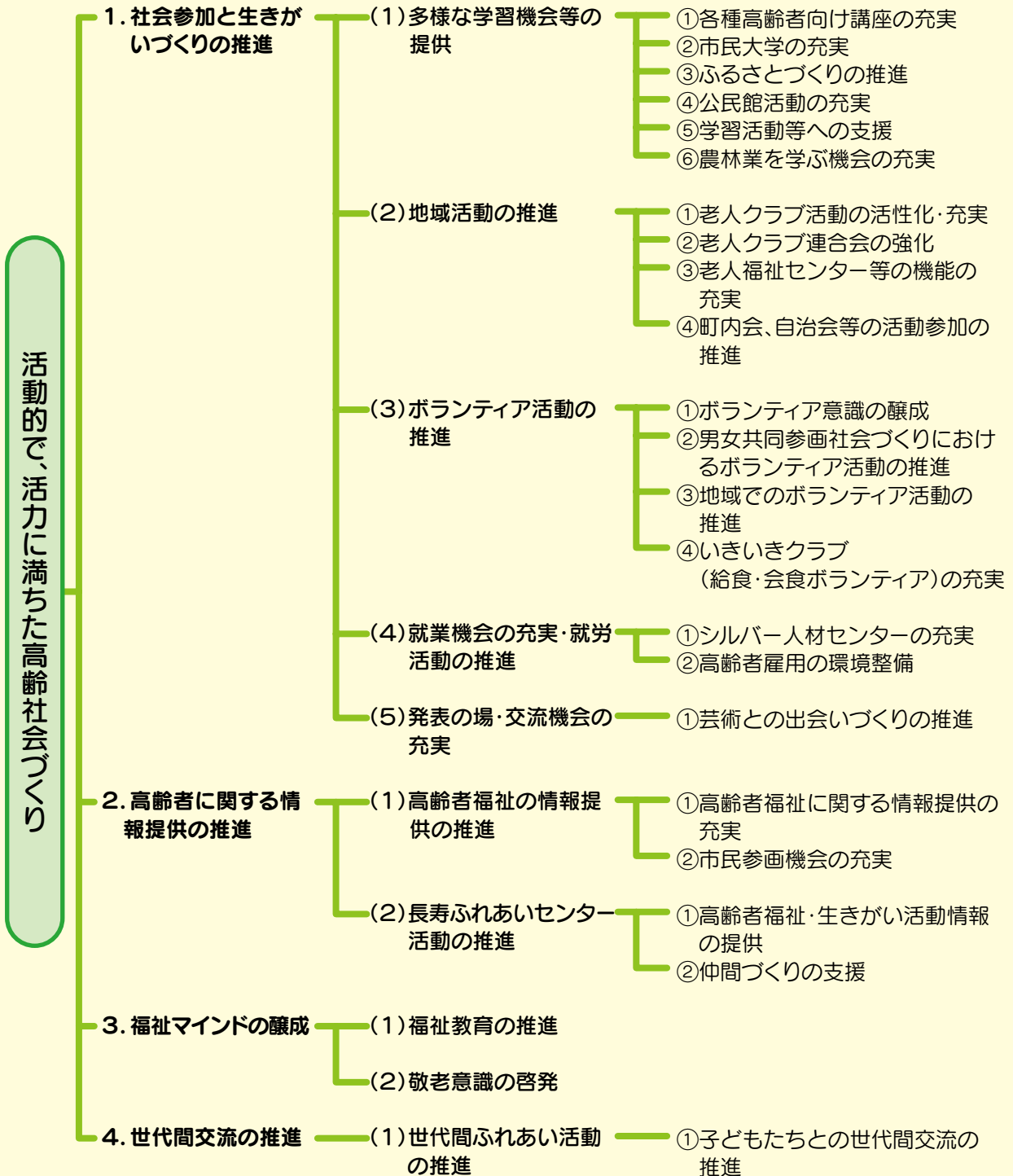
また、福祉施策を通じて、高齢者が尊厳を持って自立した生活を送ることができるよう、敬老意識を高めるための事業を推進します。

(4) 「世代間交流の推進」

高齢者を中心にして、子どもや若者などいろいろな世代の者が、世代を超えて活発に交流し合えるよう、世代間のふれあい活動の推進に努めます。

2 施策の体系

1. 「活動的で、活力に満ちた高齢社会づくり」の体系



3 個別施策

1 社会参加と生きがいつくりの推進

(1) 多様な学習機会等の提供

多様化・高度化する高齢者の学習ニーズに対応するため、生涯を通じて学ぶことができ、心の豊かさや生きがい感を得られるよう、学習機会の充実を図ります。

① 各種高齢者向け講座の充実

高齢者の健康と生きがい感を高める場として、各種の趣味講座や教室を開催しています。

今後とも、より多くの高齢者の方々が気軽に参加でき、創造・発表する喜びを味わい、仲間づくり、世代間交流等を通じて、生きがい感を高めていただけるよう、講座内容の拡充を図るとともに、発表の場や機会の充実に努めます。

特に、近年では、「男性の料理教室」や「高齢者の健康維持」に関するニーズが年々高まっている状況をふまえ、受講申込者が多い講座の拡充、気功や太極拳等の運動系講座の拡充に努めていきます。

◆シニアライフ講座

「創造」「趣味」「健康」をテーマに、老人福祉センターや公民館、市民プール等の公共施設で開催

		平成 23 年度実績（見込み）	平成 26 年度目標
富山地域	講座数	142 教室	150 教室
	受講者数	2,095 人	2,280 人
八尾地域	講座数	4 教室	5 教室
	受講者数	74 人	100 人

◆高齢者いきがい工房講座

「創造」をテーマに、大沢野高齢者いきがい工房で開催

		平成 23 年度実績（見込み）	平成 26 年度目標
大沢野地域	講座数	9 教室	10 教室
	受講者数	90 人	100 人

◆老人福祉センターいきがい講座

「創造」「趣味」「健康」をテーマに、大沢野老人福祉センターで開催

		平成 23 年度実績（見込み）	平成 26 年度目標
大沢野地域	講座数	7 教室	8 教室
	受講者数	150 人	200 人

◆いきがいクラブ

「健康」をテーマに、老人福祉センターや地区コミュニティセンターで開催

		平成 23 年度実績（見込み）	平成 26 年度目標
大山地域	講座数	6 教室	6 教室
	受講者数	120 人	130 人

◆高齢者生きがい健康づくり講座

「趣味」、「健康」ををテーマに、婦中町朝日地区福祉センターで開催

		平成 23 年度実績（見込み）	平成 26 年度目標
婦中地域	講座数	4 教室	5 教室
	受講者数	750 人	800 人

◆いきいき健康教室

「健康」をテーマに、公民館で開催

		平成 23 年度実績（見込み）	平成 26 年度目標
山田地域	講座数	3 教室	3 教室
	受講者数	160 人	170 人

② 市民大学の充実

市民大学は、生涯学習の一環として昭和 53 年に旧富山市で開設し、系統的・継続的な学習を特色とする市民のための成人教育で、学習は、視聴覚機器の活用など多様な方法を取り入れた一般・創作・ガラス工芸コースを中心に、特別講演会・特別講義など多様な学習の場を設定し、学ぶ者同志のふれあいを大切に自主的活動を通じて、心豊かな人間形成を目指しています。

市町村合併後、各地域の特性を活かしながら一体感を持った学習活動の展開が重要であると考え、各コース運営の連携や統合を進めてきました。現在は、市民プラザ内にある市民学習センターを中心に、八人町分室のほか各地域に※プラネット会場で 80 のコースを開いています。

今後は、

- ア 開設方針である系統的・継続的な学習機会の提供と「ふるさととやま」を学ぶコースの充実
- イ 受講機会の均衡を図るため、人気のあるコースについては特別講義を実施したり、増設を検討
- ウ 健康や医学薬学など受講者ニーズに対応したコース内容の充実
- エ 受講希望者が市内各地域で受講申込や学習情報を得ることができる学習体系の強化
- オ コース内容や開催会場の見直し

などを図っていきます。

③ ふるさとづくりの推進

地域住民の生涯学習やコミュニティ活動の推進を図るため、各地区には各種団体が構成される「ふるさとづくり推進協議会」があります。

この協議会に対する支援を通して、家庭教育や成人教育、高齢者学級など各種公民館ふるさと講座を市立公民館で実施し、ふるさとづくり事業を推進しています。

今後、さらに、地域づくりふれあい総合事業（世代間交流事業）の実施など、子どもから高齢者まで幅広く参加できるよう、企画や運営を工夫し、地域の特色を活かした事業を推進します。

④ 公民館活動の充実

地域における学習やコミュニティ活動、交流活動の拠点となる市立公民館の整備を進めるとともに、明るく生きがいのある生活を創造できるような講座の開設、情報提供、自主学習グループへの支援を行います。

また、地域の様々な社会教育活動は、高齢者の生きがいを高めるとともに、各世代が高齢者との交流を通して高齢社会についての理解を深める役割を果たしていることから、自治公民館についても、地域住民の身近な集会・交流活動の場として活用されるよう支援していきます。

⑤ 学習活動等への支援

様々な活動による自己啓発の意欲が高まるなか、壮年期（55歳以上）の方の自己啓発を支援し、壮年期からのキャリアアップと生きがいづくりに努めます。

※壮年期キャリアアップ補助事業

55歳以上の市民で県内の大学の社会人向け講座受講修了者に受講料の一部を補助。

⑥ 農林業を学ぶ機会の充実

農業や林業に関心を持つ、元気で意欲的な高齢者の社会参加と生きがいづくりのため、行政と農林業関係団体等とが連携しながら、農作物栽培の技術指導や市民農園を開設するとともに、高齢者が気軽に参画できる多面的機能を有する里山林の整備保全活動等を支援します。

さらに、農林業に関する様々な学習、活動情報のきめ細かい提供に努めます。

ア 市民農園の開設（区画数：408区画）

イ 農業サポーター事業の継続実施

ウ 森林ボランティア（きんたろう倶楽部等）活動情報の提供

(2) 地域活動の推進

地域社会は、多くの人の諸活動によって成り立っていることを認識するとともに、個々人の持つ能力を最大限に生かし、様々な工夫と協働で形成することが重要であることから、高齢者の主体的な地域社会への参画を促進するとともに、相互扶助の機能が活性化するように取り組みます。

① 老人クラブ活動の活性化・充実

市内の老人クラブは、平成23年10月末現在689団体、会員数53,310人であり、活発な活動が展開されています。老人クラブは、地域における社会奉仕活動、教養活動、健康増進活動などを通して、高齢者の生きがいと健康づくりに果たす役割が大きく、ゆとりある地域社会づくりに大いに貢献されていることから、今後とも、広報啓発活動などを通じてイメージアップや会員募集に努めるほか、老人クラブの活性化に向けた諸活動を支援します。

◆単位老人クラブ（60歳以上）

H23.10. 末現在

	平成23年度実績（見込み）	平成26年度目標
単位老人クラブ数	689クラブ	700クラブ
富山地域	531クラブ	540クラブ
大沢野地域	34クラブ	35クラブ
大山地域	31クラブ	32クラブ
八尾地域	62クラブ	62クラブ
婦中地域	24クラブ	24クラブ
山田地域	5クラブ	5クラブ
細入地域	2クラブ	2クラブ
会員数	53,310人	55,790人
富山地域	38,368人	40,150人
大沢野地域	4,253人	4,450人
大山地域	2,089人	2,200人
八尾地域	4,650人	4,850人
婦中地域	3,168人	3,300人
山田地域	226人	240人
細入地域	556人	600人
加入率	38.4%	38.5%

60歳以上人口（見込み）145,010人

② 老人クラブ連合会の強化

近年、ライフスタイル・価値観の多様化や高齢になっても現役で働きたい人が増えているなど、年々老人クラブ会員が減少傾向にあります。

一方で、高齢化の進展により、高齢者同士が支え合うことの重要性はますます増大しており、寝たきりや認知症にならないための健康づくりや、地域内の要援護高齢者の見守り活動など老人クラブへの役割が高まっています。

高齢社会を明るく、活力あるものとし、地域の中で孤立することなく、いつまでも元気で生きがいをもって生活していただくためには、老人クラブ会員を中心とした、高齢者自らが主役となって、積極的な取り組みを展開していく必要があります。

そのためには、魅力ある老人クラブづくりを進め、一人でも多くの高齢者が老人クラブに加入されるよう、「富山市老人クラブ連合会」との連携を図りながら、老人クラブの組織強化や活性化に努めます。

③ 老人福祉センター等の機能の充実

本市には、老人福祉センターが6カ所、老人憩いの家が2カ所あり、これらの施設は、各種の相談や健康の増進、教養の向上、レクリエーションの場として親しまれていることから、今後とも、高齢者の方々が気楽にふれあえる憩いの施設として、同施設の利用促進を図ります。

◆老人福祉センター等利用者数

	平成23年度実績（見込み）	平成26年度目標
呉羽山老人福祉センター	51,480人	52,300人
海岸通老人福祉センター	43,482人	44,000人
南老人福祉センター	57,963人	59,000人
大沢野老人福祉センター	42,000人	42,700人
大山老人福祉センター	23,900人	24,200人
婦中社会福祉センター	24,387人	24,800人
水橋老人憩いの家	10,626人	10,800人
東老人憩いの家	41,441人	42,200人
合計	295,279人	300,000人

④ 町内会、自治会等の活動参加の推進

高齢者にとって、生涯を通じた心豊かな生活の場、自己実現の場として地域社会が重要であると考えられることから、特に身近で参加しやすい町内会活動や地区の自治振興会等の活動を支援し、高齢者の参加の促進を図ります。

(3) ボランティア活動の推進

ボランティア活動は、自ら関心のある社会的な活動を通じて、自分も相手も、社会も豊かになるという視点で行われるものであり、高齢者の自己表現への欲求及び地域社会への参加意欲を充足させ、社会連帯や相互扶助の意識を醸成するボランティア活動に、誰もが、いつでも、どこでも、気軽に参加できるよう、自発的な活動を尊重した基盤整備を図ります。

① ボランティア意識の醸成

ボランティア活動は、自分のためだけでなく、社会の人々との共生を図るという観点の啓発が重要であり、今後は「高齢者自身がボランティア活動の受け手であり提供者にもなれる」ことへの意識啓発に努め、高齢者の社会参加とその能力の活用を図っていきます。

また、「ボランティア情報収集提供事業」などにより、ボランティア意識の醸成・高揚やボランティア活動の活性化を推進します。

② 男女共同参画社会づくりにおけるボランティア活動の推進

男女ともに社会のあらゆる分野に参画する「男女共同参画社会」の実現を目指す今日にあって、ボランティア活動への男女の参画を促進し、高齢者の自立と、健康で安心して暮らせるコミュニティづくりを推進します。

③ 地域でのボランティア活動の推進

地域の福祉ニーズに地域で対応するため、ボランティアの発掘やボランティア意識の向上及びボランティア活動の促進を図るためのネットワーク化、さらには、給食ボランティアによる、ひとり暮らし高齢者の昼食会の開催など、地域に根差した活動を推進します。

また、地域住民のボランティアによる「ふれあいいきいきサロン」や「ふれあい子育てサロン」の取り組みが各地域で広がっていることから、その活動を通して、高齢者の閉じこもり防止や、子育て支援など、地域住民の交流促進に努めます。

さらに、ボランティア活動の一環として、地域の幼稚園、保育所、小学校、中学校と社会福祉施設が交流し、高齢者が培ってきた技能や特技を地域の子どもたちに伝授するなど、折り紙や手あそび、むかしの遊びなどを通して世代間の交流を推進します。

高齢者の社会参加を促進するためにも、地域でのボランティア組織の役割は重要であり、地域でのボランティア活動を一層推進していきます。

④ いきいきクラブ（給食・会食ボランティア）の充実

ひとり暮らしで、家に閉じこもりがちな高齢者等に対し、会食等のサービスを提供することにより、孤独感の解消や閉じこもり等の防止を図るとともに、サービス提供者（ボランティア）による生きがい活動を支援していきます。

◆いきいきクラブ

	平成 23 年度実績（見込み）	平成 26 年度目標
延配食数	17,025 食	20,000 食
延ボランティア数	7,295 人	10,000 人

（4）就業機会の充実・就労活動の推進

高齢者の高い勤労意欲が満たされるよう、長年培った知識・経験・能力が有効に生かされる生産・就業環境の整備を図ります。

① シルバー人材センターの充実

人口減少時代の到来や団塊世代の定年退職など、我が国は、超高齢社会の進行とともに、労働力人口の減少がより一層進むことが確実な社会を迎えています。

このため、今後活力ある経済社会を維持していくためには、定年後、意欲と誇りを持って自らの経験と能力を活かせる職場を広く開拓することが重要であり、シルバー人材センターの果たすべき役割は極めて重要であるとともに、その活性化を図ることが求められています。

このことから、富山市シルバー人材センターでは、センター事業の活性化を図るため、社会的ニーズに応えた新規事業に取り組み、事業の拡充に努めるとともに、就業開拓事業や組織の充実強化に取り組みます。

◆富山市シルバー人材センター

	平成 23 年度実績（見込み）	平成 26 年度目標
会員数	2,500 人	2,800 人
年間契約件数	18,500 件	21,000 件

② 高齢者雇用の環境整備

「高齢者雇用安定法」では、高齢者の雇用を確保するため、企業に「定年の廃止」や「定年引き上げ」、「継続雇用制度の導入」のいずれかの措置を講じ、平成 25 年 4 月までに従業員の 65 歳までの雇用確保措置を義務づけています。平成 23 年 6 月 1 日現在の高齢者の雇用状況報告書によると、県内の 31 人以上規模の企業のうち、これらの措置を実施した企業の割合は 98.3%となっております。

しかしながら、雇用確保措置を講じている企業の 89.9%が「継続雇用制度」を実施しているところですが、労使合意があれば基準を設け、企業が継続雇用する人を選別することができることなどから、希望者全員が 65 歳以上まで働ける企業の割合は 47.3%となっております。

このような中、本市では、高齢者がその能力に合った職業に就くことを促進するとともに、事業主が高齢者の雇用に関し、社会的連帯の理念に基づき、適切な雇用の場を提供することを奨励するため「※富山市高齢者雇用奨励金制度」の活用促進や富山市職業訓練センターでのパソコン講座等を開催していきます。

少子高齢化が急速に進展する中で、高い就労意欲を有する高齢者が長年培った知識と経験を活かし、社会の支え手として意欲と能力のある限り活躍し続けることができる環境を整備するため、定年年齢の引上げなど、事業主に対する雇用確保措置の導入が義務付けられたこともあり、関係機関と連携を図りながら、同制度への理解と協力を促すとともに、高齢者の多様な就業形態による雇用の促進を図るため、雇用機会の拡大や就業能力の開発支援、雇用支援に努めていきます。



(5) 発表の場・交流機会の充実

高齢者が、社会参加活動や学習活動などにより自己実現を図ることができる環境を整えるとともに、その成果を発表し、他世代の人々との交流ができるよう、練習や発表の場・交流機会の充実を図ります。

1 芸術との出会いづくりの推進

生活水準の向上や余暇時間の増大などの中で、多くの市民が身近に優れた芸術・文化に触れ親しむとともに、自らが音楽・舞踊・美術等の芸術文化創作活動に参加することができるまちづくりに取り組みます。

富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）や富山ガラス工房など、各種文化施設を活用して、優れた芸術・文化を鑑賞する機会を提供するとともに、市民の芸術・文化活動の発表や練習の場、交流の機会の充実に努めます。

また、市内の博物館や美術館を巡る「※富山ミュージアムバス」を運行するとともに、市立博物館等の施設を利用しやすくするため、年間共通パスポートを発行する他、おでかけ定期券やシルバーパスカの提示による入館料の減免を実施するなど、優れた芸術に触れる機会の拡充に努めます。

2 高齢者に関する情報提供の推進

(1) 高齢者福祉の情報提供の推進

高齢者福祉を推進するためには、社会参加と生きがいづくりや生活環境づくり、健康づくり、介護予防サービスなど、高齢者福祉全般にわたる様々な施策や各種福祉サービスの情報を市民と行政が共有し、協働して地域福祉の向上を図っていくことが重要であり、多様な広報媒体による情報提供を行うとともに、市民の地域福祉の構成員としての意識向上に努めます。

1 高齢者福祉に関する情報提供の充実

高齢者福祉全般にわたる様々な市の施策や各種福祉サービスの情報を、利用者や家族、地域の見守り支援者、介護支援専門員、事業者などあらゆる人々が、ICT（情報通信技術）を利用した情報や印刷物、ファックスなどの自分に合った媒体を入手し、利用できるよう、福祉情報総合ネットワークづくりを推進します。

2 市民参画機会の充実

市民一人ひとりが社会を構成する一員として、ボランティア活動や地域福祉活動などの様々な活動を通じて、市政への参画機会を拡充するとともに、各種施策の計画策定段階や事業実施過程における情報提供にも努めていきます。

(2) 長寿ふれあいセンター活動の推進

高齢者が、地域活動や学習活動、就労活動などを通じて自らの生きがいを見出せるよう、情報提供や相談・助言、仲間づくりの支援、人材の発掘・登録・紹介、活動場所の提供やイベント開催の支援などを進めていきます。

① 高齢者福祉・生きがい活動情報の提供

長寿ふれあいセンターの事業として、生きがいづくり関係の講座情報を官民間問わず収集・紹介するよう努めるとともに、同センター内での情報提供、インターネット等を通じた情報提供など、「生きがいづくりに関する情報の集積・発信」を行います。

② 仲間づくりの支援

高齢者の仲間づくりを支援するため、「仲良く歩こう講座」や「ふるさと探訪講座」、「高齢者いきがい講座」、また、読書、抹茶、英会話、太極拳、新舞踊、ハーブなどの「同好会」を開催し、「仲間づくりの支援」の充実を図り、利用の拡大に努めます。

3 福祉マインドの醸成

豊かな福祉社会を実現するため、すべての人々が、それぞれの生活の中で人として尊重され、お互いに支え合い、助け合えるよう、福祉マインドの醸成を図っていきます。

(1) 福祉教育の推進

今後の高齢社会を、心のふれあう、やすらぎに満ちたものにするためには、家庭内はもちろん、地域の人々が連帯し協力していくことが重要であり、地元のお年寄りとのふれあいを深める「世代間交流事業」を幼児期から実施していきます。

さらに、学校教育においては、子どもが自らを見つめ、生きがいや思いやりの心を持ち、共に支えあって、よりよく生きようとする意欲や態度を育てることを福祉教育の指導目標に位置づけ、地域との連携による社会奉仕体験活動や福祉施設等での交流、中学生の「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」などの事業を通じて、介護・福祉などの高齢社会の課題や高齢者に対する理解を深める施策を推進します。

(2) 敬老意識の啓発

市民一人ひとりが家庭や地域、学校などで高齢者との交流を深める機会を設けたり、介護や福祉サービス等の高齢者福祉について関心と理解を深める取り組みを推進することは、高齢者が安心して、いつまでも住み慣れた地域で暮らすことのできる、明るく活力ある長寿社会づくりに大きく寄与するものと考えられます。

国においても、毎年9月15日～21日を老人週間と定め、「みんなで築こう安心と活力ある長寿社会」をスローガンに、敬老意識を育むための事業の実施を推奨しており、本市でも、この時期に合わせ、広報紙を活用しての啓発活動や高齢者福祉をテーマにした講演会の開催など、長寿を祝う多彩な催しを行っています。

今後とも、地域や関係団体等との連携を図りながら、敬老意識の醸成に努めていきます。

4 世代間交流の推進

(1) 世代間ふれあい活動の推進

すべての世代が理解し合い、共に助け合うため、子どもから高齢者まで異なる世代が、対話や一緒に活動し、触れ合える「世代間交流」施策の推進に努めます。

① 子どもたちとの世代間交流の推進

保育所では、保育所地域活動事業として世代間交流事業を継続的に実施し、入所児童が交流の中で人とかかわっていく大切さを学ぶ機会と、高齢者が児童とふれあうことで、生きがいづくりにつながるよう、これまで以上に保育参加の機会の拡大に努めていきます。

また、近年子育てに悩みを抱えている保護者が増加傾向にあることから、高齢者の経験や知恵を活かしながら、高齢者が子育てへのアドバイスや相談にのれる環境の整備を図っていくことが求められています。

このことから、保育所等で実施している親子サークル等の行事に地域の高齢者に参加してもらい、子育てに対するアドバイスや、自身の子育て経験などを話してもらうなど、児童だけでなく保護者との交流を行う場の創設に努めていきます。

また、小・中学校においても、高齢者を含めた地域の学習・交流の拠点として、学校開放や余裕教室等の活用に努めるとともに、学校教育においても、総合的な学習の時間などを利用した福祉教育、郷土教育などの学習の中で、高齢者に学び、共に生きる心を育てる教育の更なる拡充発展を目指します。

